

# ABSTRACT ATTACHED

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-85782  
(P2000-85782A)

(43) 公開日 平成12年3月28日 (2000.3.28)

| (51) Int.Cl. <sup>7</sup> | 識別記号 | F I           | テマコード* (参考) |
|---------------------------|------|---------------|-------------|
| B 6 5 D 25/20             |      | B 6 5 D 25/20 | A 3 E 0 1 4 |
|                           |      |               | V 3 E 0 6 2 |
| A 4 7 K 10/20             |      | A 4 7 K 10/20 | C           |
| B 6 5 D 25/22             |      | B 6 5 D 25/22 | Z           |
| 25/52                     |      | 25/52         | Z           |

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 7 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平10-282004

(22) 出願日 平成10年9月17日 (1998.9.17)

(71) 出願人 000112288

ビジョン株式会社

東京都千代田区神田富山町5番地1

(72) 発明者 渡邊 邦子

東京都千代田区神田富山町5番地1 ビジ  
ョン株式会社内

(72) 発明者 仲田 洋一

東京都千代田区神田富山町5番地1 ビジ  
ョン株式会社内

(74) 代理人 100096806

弁理士 岡▲崎▼ 信太郎 (外1名)

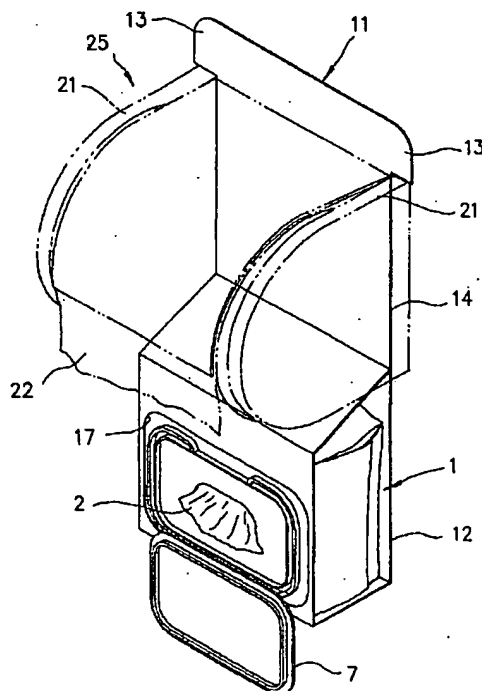
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ペーパーホルダー

(57) 【要約】

【課題】 ウエットティッシュ等のペーパー容器をトイレ等の室内において、使用者が使いやすい状態で保持するためのペーパーホルダーを提供すること。

【解決手段】 複数枚のペーパー2を重ねて収容した収容容器1を保持するためのペーパーホルダー10であって、前記収容容器を収容保持するための筒状の本体12と、この本体に形成され、前記収容容器の取り出し開口と連通する取り出し口17と、前記本体を吊り下げ状態で支持する支持手段11とを備えており、前記本体は、前記収容容器に収容されたペーパーの残量に対応して、本体の断面形状が変化する構成とした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数枚のペーパーを重ねて収容した収容容器を保持するためのペーパーホルダーであって、前記収容容器を収容保持するための筒状の本体と、この本体に形成され、前記収容容器の取り出し開口と連通する取り出し口と、前記本体を吊り下げ状態で支持する支持手段とを備えており、前記本体は、前記収容容器に収容されたペーパーの残量に対応して、本体の断面形状を変化させる変形手段を有することを特徴とする、ペーパーホルダー。

【請求項2】 前記本体は、前記吊り下げ方向に関して、前記支持手段の下端側に設けられ、かつ両側面側が開放された筒体で形成されており、前記筒体には、前記変形手段として、水平方向に互いに平行な複数の折れ線が設けられていて、これらの折れ線の一部の箇所にて折れ曲がることにより、多角形状の筒体とされており、前記筒体に保持された前記収容容器内のペーパーの残量に対応して、前記複数の折れ線による折り曲がり箇所が選択されることによって、前記筒体の断面形状が変化することで、前記本体が前記収容容器に対して接触して保持する構成としたことを特徴とする、請求項1に記載のペーパーホルダー。

【請求項3】 前記本体と前記支持体とが一体に形成されていることを特徴とする、請求項1または2のいずれかに記載のペーパーホルダー。

【請求項4】 前記本体の前記支持体の反対側には、浮き上がり防止片を備えていることを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載のペーパーホルダー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、例えば薬液等をしみこませたウエットティッシュ等を収容した収容容器を保持するためのペーパーホルダーに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ウエットティッシュ等をペーパーを収容した収容容器には、例えば図6に示すような容器が用いられている。図において、収容容器1は、ウエットティッシュ2を多数枚重ねて収容できるように、例えばラミネートフィルム等で形成した袋状容器本体3と、この容器本体3の上面に設けた開口に対応した開口4を備えるプラスチック製の蓋部材5とを備えている。そして、この蓋部材5は、上記容器本体3に取付けられる基部6と、この基部6に対して開閉自在に形成された蓋体7とを有している。

【0003】これにより、収容容器1では、容器本体3に収容されたウエットティッシュ2を、重ねられた順に、1枚ずつ、あるいは使用単位ずつ開口4から引出し

て使用できるとともに、蓋体7を閉じて、基部6に対して密着させることにより、ペーパーに含浸された液体が蒸発することが防止されるようになっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、このような収容容器1は、蓋体7を閉じて携帯するには便利であり、携行中に、ウエットティッシュに含浸した液体が蒸発しにくく、その品質をたもつことができる利点があるが、携行しないで、室内に配置する場合には、この状態ではあまり便利ではない。

【0005】すなわち、特に、収容容器1が小さく形成されている場合には、粉失しやすく、とくに、トイレ等において使用する場合には、置き場所を決めておいても、粉失しやすい。また、排便姿勢のまま、収容容器1からウエットティッシュ2を取り出そうとする場合に、これが床等に置かれている場合には、取り出しにくいという問題がある。

【0006】この発明は、上述の課題を解決するためになされたもので、ウエットティッシュ等のペーパー容器をトイレ等の室内において、使用者が使いやすい状態で保持するためのペーパーホルダーを提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的は、請求項1の発明によれば、複数枚のペーパーを重ねて収容した収容容器を保持するためのペーパーホルダーであって、前記収容容器を収容保持するための筒状の本体と、この本体に形成され、前記収容容器の取り出し開口と連通する取り出し口と、前記本体を吊り下げ状態で支持する支持手段とを備えており、前記本体は、前記収容容器に収容されたペーパーの残量に対応して、本体の断面形状を変化させる変形手段を有する、ペーパーホルダーにより、達成される。

【0008】請求項1の構成によれば、筒状の本体内に収容容器を保持することができ、この筒状の本体は、支持手段により吊り下げ状態で支持されるようになっている。しかも、収容容器内のペーパーが減った場合に、この収容容器がつぶれていったとしても、これに対応して、前記変形手段の作用により、本体の断面形状が変化することで、収容容器の変形に追従して密着を保つことができる。尚、以下の説明において、「ペーパー」とは、紙や不織布等の基材に液体や薬液を含浸させたウエットティッシュや乾いた紙の両方を意味するものとする。

【0009】また、請求項2の発明は、請求項1の構成において、前記本体は、前記吊り下げ方向に関して、前記支持手段の下端側に設けられ、かつ両側面側が開放された筒体で形成されており、前記筒体には、前記変形手段として、水平方向に互いに平行な複数の折れ線が設けられていて、これらの折れ線の一部の箇所にて折れ曲がることにより、多角形状の筒体とされており、前記筒体

に保持された前記収容容器内のペーパーの残量に対応して、前記複数の折れ線による折り曲がり箇所が選択されることによって、前記筒体の断面形状が変化することによって、前記本体が前記収容容器に対して密着して保持する構成としたことを特徴とする。

【0010】請求項2の構成によれば、ホルダーの本体である筒体には、変形手段として、互いに平行な複数の折れ線を備えていることで、この折れ線にそって複数箇所折れ曲がることで、多角形状の筒体となる。そして、本体である多角形状の筒体に保持したペーパーの収容容器の形状がペーパーの残量に応じて変化した場合には、上記折れ曲がるべき折れ線を変えることで折り曲がり箇所が変更されることによって、筒体の断面形状が変化し、収容容器の変形に追従して密着する。

【0011】また、請求項3の発明によれば、請求項1または2の構成において、前記本体と前記支持体とが一体に形成されていることを特徴とする。

【0012】請求項3の構成によれば、支持体と本体とを一体に構成することで、コンパクトで取り扱いが容易となる。

【0013】また、請求項4の発明によれば、請求項1ないし3のいずれかの構成において、前記本体の前記支持体の反対側には、浮き上がり防止片を備えていることを特徴とする。

【0014】請求項4の構成によれば、収容容器の開口から、ホルダーの取り出し口を介してペーパーを引き出すさいに、本体が引っ張れようとしても、その浮き上がりを防止して使い勝手を向上させることができる。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、この発明の好適な実施形態を添付図面を参照しながら、詳細に説明する。尚、以下に述べる実施形態は、本発明の好適な具体例であるから、技術的に好ましい種々の限定が付されているが、本発明の範囲は、以下の説明において特に本発明を限定する旨の記載がない限り、これらの態様に限られるものではない。

【0016】図1ないし図3は、本発明の実施形態によるペーパーホルダーの全体を示す図であり、図1はペーパーホルダーの正面斜め上から見た概略斜視図、図2はペーパーホルダーの背面斜め下から見た概略斜視図、図3はペーパーホルダーの正面斜め上から見た概略分解斜視図である。

【0017】図1において、ペーパーホルダー10は、一端側(図にて上側)に形成された支持手段11と、この支持手段11とは反対側(図にて下側)に形成されたホルダー本体12とを備えており、この本体12に例えば図6にて説明した収容容器を装着して保持することができるようになってい

【0018】このペーパーホルダー10は、図3に示すように、例えば全体が一枚の長い板状の部材で構成され

ている。この板状の部材は、図1のように構成して使用した場合に型保持できるようにある程度剛性を備え、加工性のよい材料で形成される。ある程度剛性を備えていないと、収容容器1をしっかり保持することができない。また、ある程度の可撓性や加工性を備えていないと製造上も取扱いに不便である。したがって、このような材料としては、例えば板紙や、ダンボール、あるいは塩化ビニル材料、ポリプロピレン等が好適である。

【0019】上記支持手段11は、ペーパーホルダー10の図1において上端に形成された一対の掛止片13、13と、これら掛止片13、13から一体に延びる延長部14とを備えている。上記掛止片13、13は、支持手段11の上端部において、それぞれ互いに反対向きに側方に突出する爪片で形成されている。これら掛止片13、13の間の距離、すなわち、延長部14の幅は、後述するようにトイレットペーパーホルダーの枠体の幅より小さくなっている。上記延長部14は、掛止片13、13の間の幅で、図において下方に延長されており、その延長距離は、例えば後述するトイレットペーパーの径とほぼ等しいか、好ましくはこれより大きく設定されている。

【0020】ホルダー本体12は、図3に示すように、材料の上記掛止片13、13が設けられている端部とは反対側の端部に形成された係合手段としての一対の係合片15、15を、延長部14の下端付近に係合することにより、形成される。すなわち、延長部14の下端付近には、一対のスリット16、16が形成されており、他方、係合片15、15には、それぞれ外向きスリット15a、15aが形成されている。これにより、係合片15、15を図3のスリット16、16にそれぞれ挿入し、図2に示されているように、各スリット16、16の外側内周部に、各係合片15、15のスリット15a、15aに係合させることで、ホルダー本体12を組み立てることができる。

【0021】このように形成されるホルダー本体12は、図1に示されているように、上記延長部14の下側に配置された筒体である。具体的には、例えば、上述した材料である長い板状部材の下端側を複数箇所同一方向に折り曲げることにより、両側面側が開放された多角形状に筒体として構成されている。

【0022】すなわち、板状体の端部には、図示されている吊り下げ方向に関して、水平な方向に複数の折れ線L1、L2、L3、L4、L5が形成されている。これらの折れ線L1ないしL5は、例えば、それぞれ材料の厚み方向にハーフカットして材料厚みを薄くすることにより、折り曲げ可能に形成されている。折れ線L1ないしL5は、線に沿って折り曲げることができればどのような加工方法や構造で形成してもよい。

【0023】本体12の前側面には、取り出し口17が設けられている。具体的には、本体12の折れ線L1と

折れ線 $L2$ の間の領域には、例えば長方形の開口または窓となる取り出し口 $17$ が形成されており、この取り出し口 $17$ は、収容されるべき図6の容器 $1$ の少なくとも蓋体 $7$ が通過できる形状と大きさを備えている。そして、この取り出し口 $17$ は、少なくとも図1の縦方向において、収容容器 $1$ の蓋体 $7$ より大きく設定することが好ましい。

【0024】さらに、本体 $12$ の下端の奥側には、浮き上がり防止片 $18$ が設けられている。この浮き上がり防止片 $18$ は、本体 $18$ の折れ線 $L5$ を材料と一体となった基端として、半円状もしくは半長円状に切り抜いた舌片状に形成されており、後述するようにして、本体 $12$ の浮き上がりを防止する。

【0025】これにより、ペーパーホルダー $10$ は、図6に示すように、ホルダー本体 $12$ の側方の開口 $12a$ から、図6のペーパー収容容器 $1$ を差し入れることによって、これを保持することができる。また、ペーパーホルダー $10$ は、図3の組立に際して、予め図7に示すようなトイレの壁面等に装備されているトイレペーパーホルダーに装着して、吊り下げることができる。

【0026】すなわち、トイレペーパーホルダー $2$ 5には、ロール状のトイレペーパー $22$ を両側から挟むようにして支持する側壁となる枠体 $21$ 、 $21$ が備えられている。本実施形態のペーパーホルダー $10$ を組み立てるまえに、板状の展開状態にて、これを上記枠対 $21$ 、 $21$ の間でかつ壁面との間に挟むようにして、上方から差し込み、これら枠体 $21$ 、 $21$ の奥側上端に、ペーパーホルダー $10$ の掛止片 $13$ 、 $13$ を図示するように掛止させる。これにより、ペーパーホルダー $10$ は、枠体 $21$ 、 $21$ の間で係止されて、吊り下げ状態となる。次いで、ペーパーホルダー $10$ の本体 $12$ の係合片 $15$ 、 $15$ を図3のスリット $16$ 、 $16$ にそれぞれ挿入し、図2に示されているように、各スリット $16$ 、 $16$ の外側内周部に、各係合片 $15$ 、 $15$ のスリット $15a$ 、 $15a$ を係合させることで、ホルダー本体 $12$ を組み立てる。ここで、ペーパーホルダー $10$ の延長部 $14$ は、トイレペーパー $22$ の径よりも長いから、本体 $12$ は、ちょうど枠体 $21$ 、 $21$ に装着されたトイレペーパー $22$ よりも下にて吊り下げ状態で支持される。そして、以上のような、枠体 $21$ 、 $21$ に対してペーパーホルダー $10$ を取り付ける作業は、図7のようにトイレペーパーを装着したままの状態で行える。

【0027】ところで、このような状態において、収容容器 $1$ 内のウェットティッシュ等のペーパー $2$ を引き出して使用するうちに、容器本体 $2$ は、内容物であるウェットティッシュ等が減ってつぶれた形状となり、形状変化を起こす。この場合に、ペーパーホルダー $10$ の本体 $12$ の内壁が、変形した収容容器 $1$ に接触しなくなり、離れると、収容容器 $1$ が本体 $12$ から落下する可能性がある。また、ある程度剛性のある材料で形成された本体

$12$ は、この内面に密着する状態で収容された収容容器 $1$ を肘するには都合がよいが、収容容器 $1$ 内のペーパー残量が減ってしまうと、収容容器 $1$ がつぶれて、本体 $12$ との間に隙間が生じることにより、収容容器 $1$ が動いてしまい、本体 $12$ の取り出し口 $17$ 内に収容容器 $1$ の開口がもぐってしまったりして、きわめて使用しにくくなってしまう。そこで、この本体 $12$ は、収容容器 $1$ の変形に応じて変形するようになっている。

【0028】ここで、図4は、本実施形態のペーパーホルダー $10$ の概略側面図であり、(a)は、収容容器 $1$ 内にペーパーの残量が多く、大きく膨らんだ状態を示している。(b)は、収容容器 $1$ 内にペーパーの残量が減って、小さく変形した状態を示している。このように、収容容器 $1$ が変形した場合に、本体 $12$ が図示のように変形しない場合には、収容容器 $1$ と本体 $12$ の内壁の間に隙間ができて、収容容器 $1$ を十分保持することができない。

【0029】この実施形態では、上述したように、本体 $12$ に複数の折れ線 $L1$ ないし $L5$ を設けておりこれらのうち、折れ線 $L3$ 、 $L4$ 、 $L5$ が変形手段として機能することで、本体 $12$ は、収容容器 $1$ の変形に追従して変形することができる。すなわち、この場合、 $L1$ 及び $L2$ は、多角形の本体 $12$ の前面側を形作るように、常に折り曲げられている。図4(a)の収容容器 $1$ 内にペーパーの残量が多く、大きく膨らんだ状態では、本体 $12$ は、 $L5$ の箇所ではほぼ $90$ 度折り曲げられることによって、その厚みが $L2$ から $L5$ 間と大きくなり、膨らんだ収容容器 $1$ に対応できる形状となっている。図4

(b)の収容容器 $1$ 内にペーパーの残量が減って、小さく変形した状態では、収容容器 $1$ は相対的に下降し、折れ線 $L5$ は折り曲げられることなく延ばされるとともに、 $L4$ の箇所にてほぼ $90$ 度折り曲げられる。これによって、本体 $12$ の厚みは、 $L2$ から $L4$ の間と薄くなり、つぶれた状態の収容容器 $1$ に対応できる形状となっている。

【0030】図5において、実線で示したのが、図4(a)の状態であり、収容容器 $1$ 内のペーパー残量が減ると、鎖線で示されたように変形する。この鎖線で示されている状態は上記図4(b)と同じである。図示されているように、本体 $12$ が収容容器 $1$ のペーパー残量の減少とともに変形する過程では、本体 $12$ の厚みが上述のように変化するとともに、延長部 $14$ と本体 $12$ の上部がなす角度は、 $\theta + \alpha$ から $\theta$ へと変化する。ここで、本体 $12$ の断面形状が変化して、本体 $12$ の内面は、常に収容容器 $1$ に対して接触または密着する。これにより、ペーパーホルダー $10$ は、収容容器 $1$ のペーパー残量にかかわらず、常にこれをしっかりと保持することができる。

【0031】また、本体 $12$ の折れ線 $L3$ は、収容容器 $1$ のペーパー残量がさらに減った場合に、折り曲げられ

ることになり、これにより、本体12はさらに厚みがうすくなる。このように、変形手段としての折れ線L3、L4、L5は、それぞれ収容容器1のペーパー減少量による変形に追従するために設けられるものであるから、さらに多数箇所の折れ線で形成してもよく、あるいは収容容器1の大きさや収容量に対応して、これより少ない数の折れ線で構成してもよい。

【0032】以上述べたように、本実施形態のペーパーホルダーによれば、図7にて説明したように、ウエットティッシュ等でなるペーパー2を多数枚収容した収容容器1を、例えばトイレのトイレットペーパーホルダーを利用して吊り下げて保持することができる。このため、床の上に置く場合等と比較して、衛生的で場所もとらず、紛失するおそれもない。また、トイレットペーパーと同じ高さに保持されることになるから、排便姿勢のまま取り出し口17を介して、蓋体7を開いてペーパー2を引き出すことが容易である。そして、使用後は、便器に流して捨てることのできるペーパー2の使用に特に適している。

【0033】また、使用しない時は、蓋体7を閉じれば、収容されたペーパーに含浸されている液体等の揮発や変質を防止した状態で保持することができるものである。また、図7に示すようにトイレットペーパーホルダーを利用してペーパーホルダー10を装着した場合に、図1ないし図3にて説明した浮き上がり防止片18を例えばトイレの壁面等に画鋏などを利用して固定することにより、ペーパー2を引き出す際に、本体12の浮き上がりを防止することができ、使い勝手が向上する。また、この浮き上がり防止片18は固定せず、ペーパーを引き出す際に使用者が抑えてもよい。

【0034】本発明は上述の実施形態に限定されない。例えば、支持手段とホルダー本体は別体に構成するようにしてもよい。また、支持手段は、例えばトイレットペーパーホルダーの別の箇所に固定するように構成しても

よい。また、ホルダー本体12に設ける変形手段は、実施形態のものに限らず、例えば本体を構成する筒体の底面部を別の材料にて構成し、この別の材料がフィルム状のシート等のある程度可撓性を備えることにより、変形手段として作用するようにしてもよい。

#### 【0035】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、ウエットティッシュ等のペーパー容器をトイレ等の室内において、使用者が使いやすい状態で保持するためのペーパーホルダーを提供することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態に係るペーパーホルダーの正面斜め上から見た概略斜視図である。

【図2】図1のペーパーホルダーの背面斜め下から見た概略斜視図である。

【図3】図1のペーパーホルダーの正面斜め上から見た概略分解斜視図である。

【図4】図1のペーパーホルダーの変形の様子を示す図である。

【図5】図1のペーパーホルダーの変形の様子を示す図である。

【図6】図1のペーパーホルダーに収容容器を装着した状態を示す図である。

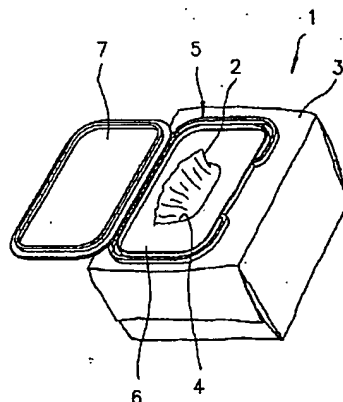
【図7】図1のペーパーホルダーに収容容器を装着してトイレットペーパーホルダーに取り付けた状態を示す図である。

【図8】ウエットティッシュ容器の一例を示す概略斜視図である。

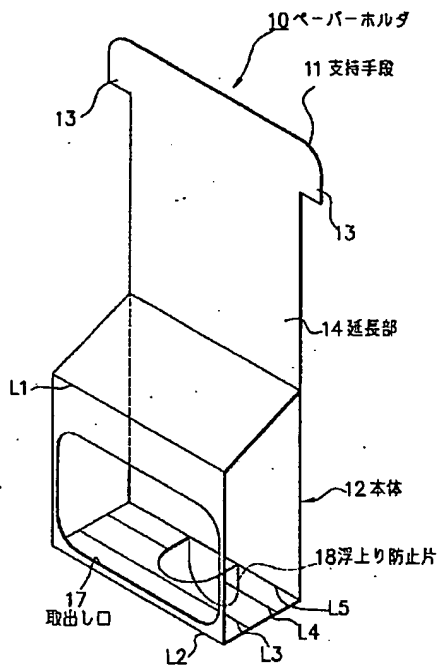
#### 【符号の説明】

10・・・ペーパーホルダー、11・・・支持手段、12・・・ホルダー本体、13、13・・・掛止片、14・・・延長部、L1、L2、L3、L4、L5・・・折れ線。

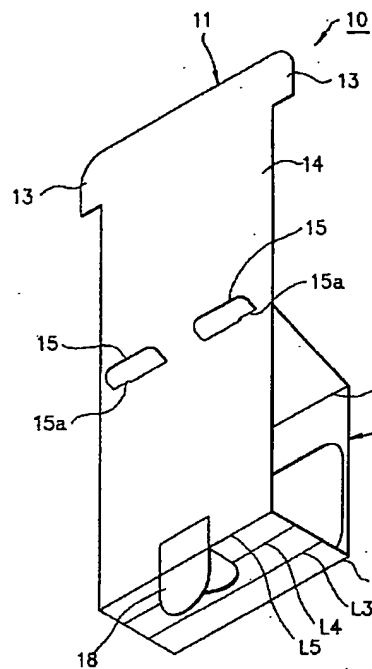
【図8】



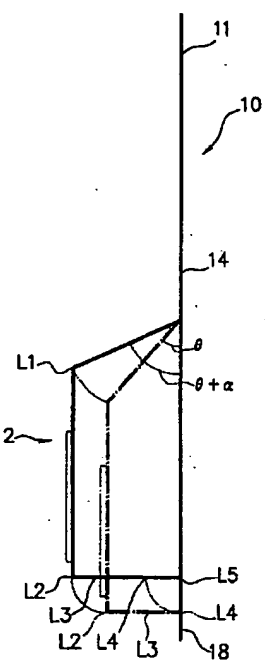
【図1】



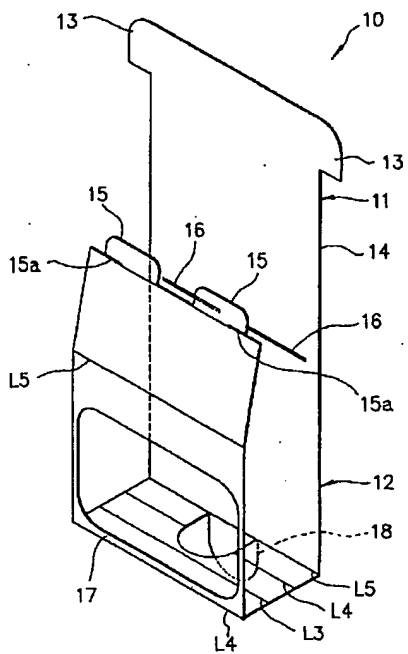
【図2】



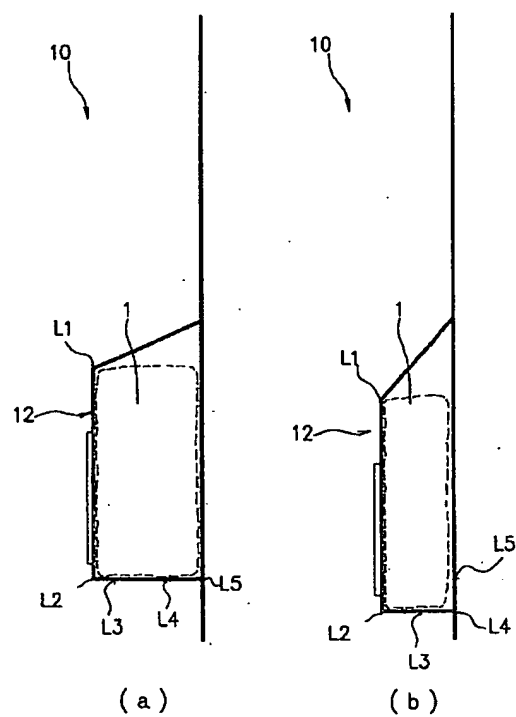
【図5】



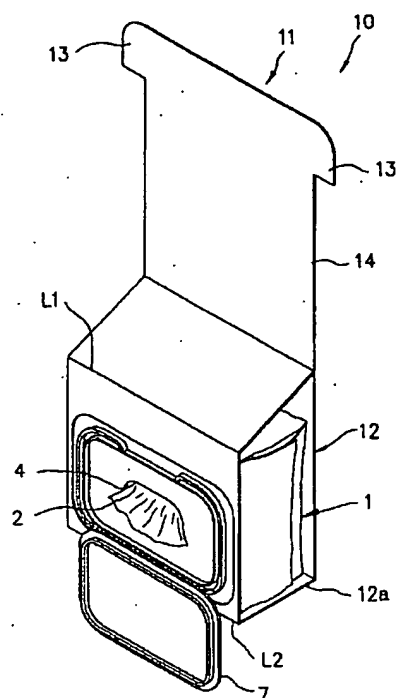
【図3】



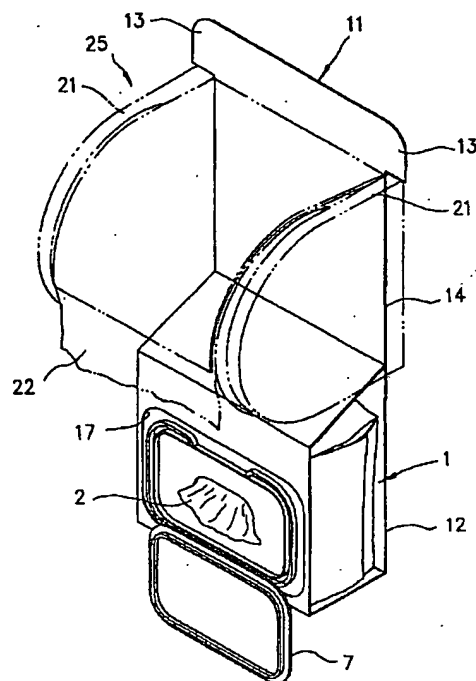
【図4】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7  
B 6 5 D 83/08

識別記号

F I  
B 6 5 D 83/08

「コード」(参考)

A

Fターム(参考) 3E014 KA02 LA01 LB02 LD04 LE05  
PA10 PC03 PF10  
3E062 AA20 AB12 AC02 AC05 GA10  
GB02 GC01

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



10/7/1

DIALOG(R) File 351:Derwent

(c) 2000 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

013126124 \*\*Image available\*\*

WPI Acc No: 2000-297995/200026

Paper holder for wet tissues used in toilets, has cylindrical container having crease lines along which cross section of container change

Patent Assignee: PIGEON KK (PIGE-N)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

| Patent No     | Kind | Date     | Applicat No | Kind | Date    | Week     |
|---------------|------|----------|-------------|------|---------|----------|
| JP 2000085782 | A    | 20000328 | JP 98282004 | A    | 1998091 | 200026 B |

Priority Applications (No Type Date): JP 98282004 A 19980917

Patent Details:

| Patent No     | Kind | Lan Pg | Main IPC    | Filing Notes |
|---------------|------|--------|-------------|--------------|
| JP 2000085782 | A    | 7      | B65D-025/20 |              |

Abstract (Basic): JP 2000085782 A

NOVELTY - The paper holder for storing the paper has a cylindrical container (12) having a paper removal opening. Several crease lines are provided at bottom side of the container to accommodate the residual quantity of paper when the container is hung. The cross section of other container is changed along the crease lines.

USE - For storing wet tissue papers in toilets.

ADVANTAGE - Enables easy usage of the container without damage by users, by adopting, crease lines in container.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the hanging state of storage container paper holder.

Cylindrical container (12)

pp; 7 DwgNo 6/8

Derwent Class: P28; Q32; Q34

International Patent Class (Main): B65D-025/20

International Patent Class (Additional): A47K-010/20; B65D-025/22;

B65D-025/52; B65D-083/08

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

**JAPANESE PATENT OFFICE****PATENT ABSTRACTS OF JAPAN**

(11)Publication number: **2000085782**

(43)Date of publication of application: **28.03.2000**

---

(51)Int.Cl.

**B65D 25/20**

**A47K 10/20**

**B65D 25/22**

**B65D 25/52**

**B65D 83/08**

---

(21)Application number: **10282004**

(22)Date of filing: **17.09.1998**

(71)Applicant:

(72)Inventor:

**PIGEON CORP**

**WATANABE KUNIKO**

**NAKADA YOICHI**

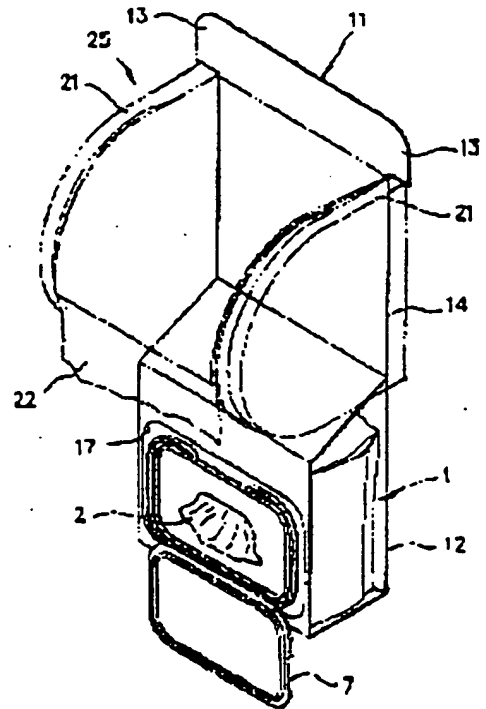
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## (54) PAPER HOLDER

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a paper holder for holding a paper container for wet tissues or the like indoors such as in a toilet in a state that a user can easily use.

**SOLUTION:** The paper holder for holding a storage container 1 receiving a plurality of overlaid sheets of paper 2 includes a cylindrical body 12 for receiving and holding the storage container 1, a take-out port 16 formed on the body 12 and connected with a take-out opening of the storage container 1 and a support means 11 for supporting the body 12 in a hanging state. The body 12 has a constitution that a cross-sectional form of the body 12 varies depending on a residual amount of stored paper.



**THIS PAGE BLANK (08PT0)**